

研究部ニュース 2019年度第3号

2020年3月6日(金)

発行者：研究部（松本、岩崎、渡部、岡、大原、小林、松田）

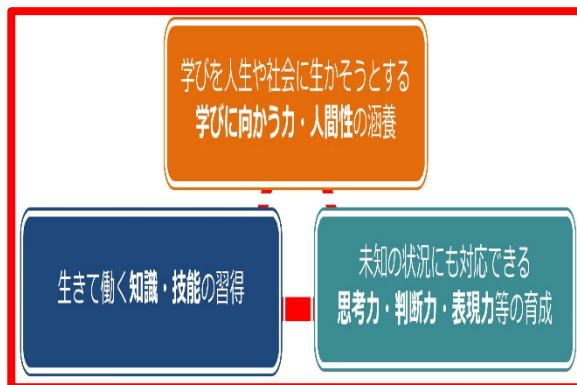
平素は本校の教育及び研究活動にご協力いただきありがとうございます。

今年度最終号となる第3号の研究部ニュースは、本校の研究活動の様子について紹介します。

本校研究（令和元年度～3年度）

知的障害教育におけるカリキュラム・マネジメントの運用 とキャリア教育の推進（1年次）

今年度から上記研究主題で研究をスタートしました。カリキュラム・マネジメントは、「児童生徒や学校の実態に即して、カリキュラム（教育課程・教育内容）をつくり、動かし、変えていく営み」とされています。本校は50年以上の歴史があります。その歴史をもう一度見直し、古くからある行事を含めた教育内容が今の学校や子どもたちの実態に合っているか、12年間一貫教育を進めていくうえで大切なことは何か…ということを本校教職員でもう一度見直して、本校の教育をよりよくしていきたいと願って研究主題を決めました。そこで外せないのが「キャリア教育」の視点です。本校の教育目標の2つめには「キャリア教育の視点に立って卒業後の社会で生きる力を身につける」と記されています。卒業後の生きる力を身につけるために、



「3つの資質・能力」

各学部卒業後の卒業までにどんな姿になってほしいのか、それを示したものが学部の教育目標になります。この目標は次年度から完全実施の学習指導要領に示された「育成すべき3つの資質・能力」を基に構成しました。おのこの教員が思い抱いている意見を出し合いながら、1つの目標を作り上げる作業こそ教員の意思統一を図る大切なプロセスであると考えています。これらを3学部で調整して決定したのが以下の学部目標です。次年度からはこれらを達成するべく、教育活動を進めていくことになります。新年度の教育課程（行事含む）については、新年度に学部主事より説明させていただきます。

次年度は令和3年2月13日（土）に研究実践報告会（2年次）を開催します。詳細は日が近づきましたら連絡させていただきます。

決定した学部の教育目標

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
小学部	児童が健康で楽しく学校生活を送る中で、自分の身のまわりに対する意識を高め、基本的な生活習慣や学習の基礎となる力を養う。		
	・「見る」「聞く」等の学習の基礎の力を培う。 ・基本的な生活動作や習慣を育てる。	・遊びや学習を通して、他者と関わったり、やりとりしたりする力を育てる。	・様々な経験を通して、成功体験を積み重ね、興味・関心を持って自ら取り組み、自ら取り組もうとする力を育てる。
中学部	生徒が主体的に生き生きと学校生活を送る中で、基本的な知識と技能を高め、集団の中で望ましい生活習慣や社会性を養う。		
	・基本的な知識と技能を習得し、くらしに生きる力を育てる。	・集団活動の中で状況に応じた行動がとれる力を育てる。	・習得した能力をくらしの中で発揮できる力を育てる。
高等部	生徒が自主的、主体的に学校生活を送る中で、将来へと続く「自分づくり」の道を築き、社会生活に必要な力を養う。		
	・自立した生活ができるための基礎を育てる。	・精神面での自立を促し、自主的・主体的に行動できる力を育てる。	・友だちと育ちあう喜び、人の役に立てる喜びを感じる「共感的自己肯定感」を育てる。

（裏に続く）

一人ひとりの多様な可能性を広げる評価のあり方 ー主体性を育むための目標及び 評価指標の作成と活用をめざしてー

昨年度からは上記研究主題を設定し、今年度は2年目にあたります。各校園種
接続を視野にいたした主体性を育むための評価指標（略称「主体性コモン・ループ
リック」）の1次案が完成したことを受け、現在はローカライズ（各校園での実践
に対応させること）を行っています。2月18日（火）に予定されておりました、
第3回五校園共同研究集会はコロナウイルス感染症予防のため中止となりました
が、各校園の研究主任や正副校園長、五校連の皆様が集う共同研究協議会は開催
されました。各校園の主体性コモン・ループリックを活用した取り組みの報告が
ありました。

主体性コモンループリック（1次案）

主体性コモンループリック		自身の適性と興味を近づける時期。		蓄積(興味)の時期
主体性を育むための目標及び評価指標	Ⅰ（高等学校）	Ⅱ（中学校）	Ⅲ（小学校）	Ⅳ（幼稚園）
指標分類A 自己 的行動に関する素 能力	指標項目A-1 やりたいことややるべきことを 決める力 状況に対して、自分の興味や適性を認識 し、自己実現のイメージをもって、それに 向かう自分の行動の方向性を、具体的に示 すことができる。	状況に対して、自分の興味や適性を考え、 自己実現のイメージをもって、それに向 かう自分の行動の方向性を示すことができ る。	自分の行動が自分のこととして捉え、や りたいことややるべきことを示すことが できる。	必要に応じて、身近な環境（対象や人） にかかわることができる。
指標項目A-2 考えたことを実行する力	状況に応じて、自分の興味や適性を認識 し、自己実現のイメージをもって、それに 向かう自分の行動の方向性を、具体的に示 すことができる。	状況に応じて、やりたいことややるべき ことを示すことができる。	状況に応じて、やりたいことややるべき ことを示すことができる。	自分のやりたいことに向かって、身近な環 境（対象や人）にかかわることができる。
指標項目A-3 継続して取り組む力	自ら設定した目標に対し、必要に応じて内 向性を修正するなどの力。教員からの反 応を踏まえて取り組むことができる。	自ら設定した目標に対し、自分の興味を 意識しながら、継続的に取り組むことが できる。	やりたいことややるべきことを示し、意 図が実現するまで、継続的に取り組むこ とができる。	自分のやりたいことに向かって、継続的に 取り組むことができる。
指標分類B 問題（課題）解決能力	指標項目B-1 課題を自ら認識し、その解決 のための方法を考える力 社会に関する課題を認識し、それらを多 角的・論理的・批判的に分析し、具体的な 解決のための方法を、提案をもって見 出すことができる。	身近な社会の課題を認識し、それらを 多角的・論理的・批判的に分析し、具 体的な解決のための方法を提案するこ とができる。	身の周りの課題を認識し、それらの原因 などを自分なりに考え、解決のための 方法を、見つけたり、考えたりするこ とができる。	自分の身の周りの課題を認識し、それ らの原因などを自分なりに考え、解決 のための方法を、見つけたり、考え たりすることができる。
指標項目B-2 課題を自ら認識し、その解決 のための方法を考える力	社会に関する課題の解決のために、他者 と協力し、具体的な解決のための方法を 提案し、実行することができる。	身近な社会の課題の解決のために、他 者と協力し、具体的な解決のための 方法を提案し、実行することができる。	身の周りの課題の解決のために、自分 なりに考え、具体的な解決のための 方法を提案し、実行することができる。	自分の身の周りの課題の解決のために、 自分なりに考え、具体的な解決の ための方法を提案し、実行するこ とができる。
指標分類C 自己 的行動に関する素 能力	指標項目C-1 自分のよさを認める力 自分の個性や興味、得意なこと、得意な こと、得意なことを認めることができる。	自分の個性や興味、得意なこと、得意な ことを認めることができる。	自分の個性や興味、得意なこと、得意な ことを認めることができる。	自分の個性や興味、得意なこと、得意な ことを認めることができる。
指標項目C-2 自分の考え・考え方をもちこ つ力	自分の経験、様々な価値観、多角的な 視点から、対象・事象を多角的に捉え るもの、考え方をもちこつことができる。	自分の経験、様々な価値観、多角的な 視点から、対象・事象を多角的に捉え るもの、考え方をもちこつことができる。	自分の経験、様々な価値観、多角的な 視点から、対象・事象を多角的に捉え るもの、考え方をもちこつことができる。	自分の経験、様々な価値観、多角的な 視点から、対象・事象を多角的に捉え るもの、考え方をもちこつことができる。
指標分類D 自己 的行動に関する素 能力	指標項目D-1 社会の一員としての自己を認 める力 社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。
指標項目D-2 社会の一員としての自己を認 める力	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。
指標項目D-3 社会の一員としての自己を認 める力	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。
指標分類E 自己 的行動に関する素 能力	指標項目E-1 社会の一員としての自己を認 める力 社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。
指標項目E-2 社会の一員としての自己を認 める力	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。
指標項目E-3 社会の一員としての自己を認 める力	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。	社会の中で、自分の置かれた立場を認識 し、自分の立場や役割を認識すること ができる。

本校からは研究部長の松本より「特別支援学校における主体性コモン・ループ
リックの活用について」というタイトルで、小学部で実施している「特別の教科
道徳」の指導内容と主体性コモン・ループリックからの目標設定、取り組んでみ
ての改善策等を報告しました。

次年度は11月7日（土）に平野五校園共同研究発表会を開催予定です。

本校の研究の進め方について

さて本校では年に6回ほど「研究協議会」
という会議を持っています。この会議では、
本校での研究の進め方やその内容について
議論し、決定する場となっています。今年
度は本校の研究主題や研修体制、先述した
カリキュラム・マネジメントに関わる事項
の検討・決定を行ったり、ユニット研究や
個人研究の研究のための時間に充てています。



研究協議会の様子

この他にも本校では1年間
の研究のまとめの冊子として
「紀要」を発刊しています。直
接保護者のみなさまの目に触
れる機会は少ないのですが、1
年間の成果と次年度以降への
展望を記しています。



平成 28～30 年度 紀要・年報・研究大会要項集

会議室の書棚には過去の「紀要」や「年報」、「研究大会要項集」等を保管して
おり、これらは本校の研究のあゆみを記した「宝物」となっています。

今年度も本校の研究活動にご協力いただき、誠にありがとうございました。

これからもご尽力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。